

ストレスチェックをやってみよう



～労働者の健康管理～



① うちの労働者がメンタル不調で休職してしまっただ。周りに聞いても何が原因やきっかけが分からないようだ。

減ってしまっただ

メンタル疾患に罹患する労働者は近年増加傾向にあります。御社は対策をされていまずでしょうか。

② 毎年の健康診断はやっているけど、会社としての取組みはそれぐらいかなあ。労働者も50人未満だから、産業医も選任はしていないし……。

特に何も……

③ それでは、メンタルヘルス不調のリスクの高い方を早期に発見し、医師による面接指導へつなげるストレスチェック制度[◇]を導入されてみてはどうでしょうか。あわせて、ストレスチェック結果を集団分析し、職場環境の改善につなげましょう。

労働者50名未満であれば、導入に助成金が活用できます

④ さっそく、当社でもストレスチェックを実施したところ、労働者自身のセルフケアを図ることができ、メンタル不調になる人が減少しました。また、結果に基づき、職場環境も改善したところ、労働者全体の生産性向上にもつながりました。

受けてよかったストレスチェック！

ストレスチェックにより労働者の精神面もケア可能！

◇：「ストレスチェック」とは、ストレスに関する質問に労働者が記入し、自分のストレス状態がどのような状況にあるか調べる検査のこと。事業場労働者数が常時50名以上であれば、ストレスチェックの実施が義務化されており、50名未満は努力義務となっている。

取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」
事業場労働者数50名未満で導入した場合、「法定外健康診断等の助成★」に該当

業種：製造業 従業員数：40名

事業場内でメンタル不調者がでたことをきっかけに、メンタルヘルス対策の必要性を考え、**ストレスチェック導入**※（事業場労働者数50名未満のためストレスチェック義務企業ではない）に取り組んだ。

<ストレスチェック導入時の注意点>

- プライバシーの保護
 - ☞ 調査票や結果については、第三者や人事権のある人の目に触れないよう取扱いに注意が必要。
- 不利益取り扱いの防止
 - ☞ ストレスチェック結果等を理由とした解雇や不当な配置転換等を行わないこと。

<集団ごとの集計・分析>

- 分析結果を踏まえた職場環境の改善を実施する。



導入に当たってはマニュアル等を参照

【ストレスチェック導入助成金】

- 産業保健関係助成金
 - <ストレスチェック助成金>
 - 従業員一人当たり**500円**
 - 医師の面接指導
1回につき**21,500円**
 - <職場環境改善助成金>
 - 計画を作成し、実施した場合、助成額**最大10万円**
- ◆助成金は、労働者数等、一定の支給要件があります。

- ・ストレスチェックを実施したことにより、労働者自身の気づきを促すことになり、メンタル不調者が減少した。
- ・ストレスチェック結果を集団分析し、職場環境を改善したところ、労働者の精神面の安定につながり、労働者全体の生産性も向上した。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本 部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com